

## 平成23年度 館山市「事業仕分け」 評価結果一覧

No.	事務事業名	評価分類	票数	理由（複数選択可）	コメント（理由・改善点の詳細など）			
①	市有財産の管理 （未利用市有地の売却等）	拡充	2	① 事業内容をさらに拡大・充実すべき	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に競争入札させるべき。（鑑定費や測量費込みで最低入札価格を設定すれば、経費を下回ることにならないはず）</li> <li>赤道の処分については、一度、実態調査をすべき。</li> <li>未利用地の土地はできるだけ多く公表するようにし、売却を進めること。</li> </ul>		
				② その他				
		改善	3	① より効果のある手法（やり方）に見直すべき	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃道敷きの売却については、買取しやすい方法、基準を検討することが必要。経費を最小限にとどめる工夫をすること。</li> <li>・市広報やホームページなどを活用して売却を推進すること。</li> <li>・狭小地では経費＞売却額となることから、市広報等でPRしながら売却を進めていくべき。</li> <li>・今年度売却を見送った物件については、売却のタイミングを外さないようにすること。</li> <li>・売却可能な土地はできるだけ売却し、固定資産税等の収入を増やしたほうが効果的。</li> </ul>		
				② より効率化を図るべき	1			
				③ 自主財源を確保（適正な受益者負担）すべき				
				④ 目標（値）を設定、または見直すべき				
				⑤ その他				
		②	庁内OA機器等の管理	現行どおり	2	① 現行どおり事業継続すべき	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットに接続しない機器については、経費の削減を図ること。</li> <li>・ハード及びソフトの入れ替えがスムーズにできるよう、計画的に事務を進めること。</li> <li>・購入経費とリース経費との比較は、定期的（1～2年ごとなど）に行うなど、今後も検討は続けるべき。また、リース契約で軽減される事務事業を加味して検討すべき。</li> </ul>
						② その他	1	
				改善	3	① より効果のある手法（やり方）に見直すべき	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市、各種周辺情報の把握に努め、費用対効果と職員の効率化を見極め、電子自治体を推進すること。</li> <li>・機器購入については、少しでも安く購入できるよう交渉すべき。</li> <li>・パソコンの稼働状況を把握し、必要台数の再検討をすること。</li> <li>・型式の古くなったパソコンでも、使えるものは他の部署や公民館等で利用できないか。</li> </ul>
② より効率化を図るべき	2							
③ 自主財源を確保（適正な受益者負担）すべき								
④ 目標（値）を設定、または見直すべき								
⑤ その他								
③	公共下水道の水 洗化普及促進			現行どおり	2	① 現行どおり事業継続すべき	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及促進は進めなければならない事業である。知恵を絞って接続率の向上に努めること。</li> <li>・困難な面も多いかと思うが、一つ一つ解決し、継続するしかない。</li> </ul>
						② その他		
				改善	3	① より効果のある手法（やり方）に見直すべき	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成対象期間は3年間に限定しなくても良いのでは。</li> <li>・一時的なキャンペーン実施（木更津市の事例）の検討を含め、今後も接続率向上に努めること。</li> <li>・接続率向上のために、より効果的な具体策を検討すべき。</li> <li>・早急に未接続世帯の状況把握に努めること。</li> <li>・接続工事をすることが法で定められている。工事費の支払いが困難な家庭からの相談を受けるなど、戸別訪問の際の対応を考える必要がある。</li> <li>・他市の状況を把握しながら方策を検討すること。</li> </ul>
		② より効率化を図るべき						
		③ 自主財源を確保（適正な受益者負担）すべき						
		④ 目標（値）を設定、または見直すべき						
		⑤ その他						

## 平成23年度 館山市「事業仕分け」 評価結果一覧

No.	事務事業名	評価分類	票数	理由（複数選択可）	コメント（理由・改善点の詳細など）		
④	図書館の管理・運営	拡充	3	① 事業内容をさらに拡大・充実すべき	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設のままでは物理的に開架冊数増は困難。周辺施設も含めて効率的に使用し、開架図書の数に努めること。</li> <li>・登録者へのアプローチを増やしたり、実態調査を実施し、より来館者数、貸出冊数の数に努めること。</li> <li>・拡充に伴う予算の増加は、正当な事業費として要求すべき。</li> <li>・教育・文化の向上は計り知れない、単純に数値で表せるものではない。知の集積の場として、アイデアを出しながら今後の運営方針を定めること。</li> <li>・開架図書を増やし、成果目標にこだわらず、利用増を目指すこと。</li> </ul>	
				② その他	1		
		改善	2	① より効果のある手法（やり方）に見直すべき	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生プレゼントと共に図書利用券を作ってもらうなど、利用者拡大に努めること。</li> <li>・積極的に学校や施設等に対して利用の働きかけをすること。</li> <li>・図書館の開館時間を延長し、勤労者の利用増を検討すべき。</li> </ul>
				② より効率化を図るべき			
				③ 自主財源を確保（適正な受益者負担）すべき			
				④ 目標（値）を設定、または見直すべき			
				⑤ その他			
		現行どおり	1	① 現行どおり事業継続すべき	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員へは電子媒体での配布を検討すること。</li> <li>・業者選定については、なおいっそうの経費削減を検討すべき。</li> </ul>
				② その他			
⑤	市議会会議録の作成	改善	4	① より効果のある手法（やり方）に見直すべき	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調製作業を見直し、電磁的記録の活用を検討すべき。</li> <li>・調製スケジュールの短縮方策を検討すべき。</li> <li>・委託先への委託内容及び業者選定について検討の余地あり。</li> <li>・さらなる経費の削減方策を検討すべき。</li> <li>・できるだけコストを削減するよう継続して検討すべき。</li> </ul>	
				② より効率化を図るべき	2		
				③ 自主財源を確保（適正な受益者負担）すべき			
				④ 目標（値）を設定、または見直すべき			
				⑤ その他			